

滋賀県連 訪問 議事録

開催場所	森山商工会議所	日時：平成27年 5月28日（木） 14：30 ～ 16：00	
議事録	作成人	日本商工会議所青年部	日本ネットワーク委員会 委員 神林
	署名人	日本商工会議所青年部	日本ネットワーク委員会 副委員長 今泉

次第

- ① 開会、次第、資料確認 ②出席者紹介（日本 YEG・連合会）③伴会長挨拶・日本 YEG についての説明 ④ 連合会の挨拶・連合会の事業等の説明 ⑤フリーディスカッション ⑥質疑応答 ⑦閉会

■伴会長挨拶

総会前の時間に集まって頂きありがとうございます。去年仲田会長が回らせて頂きました。少し距離感を狭めて頂いた。今年も思いをつなげていきたい。今年には県連に参加し懇親会にも参加していきたい。今回で4県連目です。全国でこんなことがあるなど話をしたい。会話のようにやりたいと考えています。滋賀は大津に泊まったことがあります。彦根等観光で来たことがある。栃木と共通点があるのかなど。かんぴょうが名産だが滋賀からトリスを仕入れている。ヒノマチというところもある。遠いようで近い。宜しくお願い致します。岡田プロ代、中野副会長にも来ていただいている。南井代表理事にも参加して頂きありがとうございます。南井さんが一番近い出向者。日本に対して要求や情報を送りだしてほしい。まず各単会で特にここに力を入れている事業などあれば教えてください。

大津：伴会長が唯一泊まった大津です。8月に滋賀うまいもん総選挙をやらしてもらっている。内容は大津のほとりで80店舗の滋賀県内の飲食店舗に集ってもらい、物産も40店舗出店する食の祭典です。YEGとして継続事業が少ない。過去にも滋賀B級グルメバトルをやっていましたが去年休んだ。やっては休んでなので地域を盛り上げるために今年は25周年を迎えるので格になる事業をやりたい。

草津：カラーは特にないが、楽しく商売の話をしたり、形にこだわらない事業や例会にしている。輝く楽しい会づくり。これが草津のカラー。これから単会のメンバーたくさんきますので是非交流してほしい

森山：滋賀の真ん中。草津、八日市の隣。現在単会は122名。課題は団塊ジュニアがどんどん卒業している。150人いたが減少している。これからまた増やしたい。事業は夏祭りで卑弥呼コンテストをYEGとしてやっている。邪馬台国が滋賀にあったという説があるので。それを元に卑弥呼コンテストをやっている。町おこしとしてのミスコン。マイナーな都市なのでこういったコンテンツを使って。ほたるの街というイメージも作っていきたい。2年後にブロック大会が控えている。森山YEGとして初めての事なので会員の力を結集できるように組織づくりをしていく。これから勉強していきたい。

八日市：八日市は特にマニアックと言われてしまう。東近江市に今はなっている。JRも通ってない。八日市の地名にはない。単会は77名で49歳まで現役。個性の強い単会です。10年やってる八日市大凧まつりが今は東近江に名前が変わっている。八日市聖徳まつりという祭りで町おこしをしている。滋賀県内では3YEG合同で例会をやっている。今年には敦賀をまぜて4単会で考えています。冬のイルミネーション。近江鉄道から市役所の800メートルのライトアップを考えています。

彦根：一番まじめな単会。80名を超えた。過去最高。古式銃研究会がYEGにあり30年を迎える。部会

があり全国に行っている。彦根城を中心に観光産業。問題としては長浜へ行く人の通過型の街になってしまっている。ジュニアアカデミーカレッジ、キッズニア、ワークメッセといった事業も始めて5年になりました。これから地元の商店街と秋と一緒にやる計画。今年から2年度制から単年度制に変わった。

長浜：今年19年目の単会です。若いメンバーが多く入ってきて入れ替わりが激しい。70名を超えた。柱として3本あり、企業家創生、テーマパークプロジェクト。住みよいまちづくり。観光都市としてのブランド化を目指して活動しています。

問題として人口の減少がある。若い人に定住してほしい。今年は出席率が今まで低かったので参加率を上げたい。会員に一人でも多く参加して貰うために理念等理解してもらい地域の活性化をしていきたい。

伴：県北3単会の事業とありましたが南はないのですか？

森山：一応あります。大津は県外との交流もある。

伴：彦根さんの言った長浜に観光客が流れるということですが

彦根：彦根に来る人は60万人だが長浜は100万人。歴史的な資材はあるが黒壁など0から長浜は町おこしをやってきた。彦根は反対が出たり温度差がある。ここ数年このままではあかなくなり彦根の持つ文化財を見直してYEG大賞は逃しましたが一夜城復活事業を去年やった。観光資源を活かしていきたい。OBも市議になったりしているのでタッグを組んで行きたい。

伴：名城100選集めていますので彦根に伺います。外からだ彦根の方が多いいのかなと思いますが実際は違うんですね。単会のメイン事業に代表理事が参加してほしいと伝えている。石垣という広報誌もありますので代表理事には情報を集めてほしい。親会にも報告したい。発信をして頂きたい。広報委員会にも言った。各単会の事業をリアルタイムに知りたい。行ってみようかなと思うようなものにした。

八日市の市の名前が変わっているんだなど。合併をして元々は商工会のエリアだったと思いますが関係は？

八日市：6町が合併しました。そんなに仲は良くはない。一部と。出てこないところもある。

伴：名称変更の予定は？

八日市：ありません。

伴：近江八幡は？

八日市：青年部がないですね。親会からも作れとなったみたいだが、青年部に似た会を独自に作ったと聞いている。7年前にYEGに見学に来ていた。

彦根：どうなったと聞いたら違う団体作っていた。商工会議所の中で若手の会を作っているのが青年部とは違うような。

伴：名古屋には若鯨会が同じような感じである。三村会頭も機会があるごとに言われている。東商も青年部を作る動きがある。各地でもそうしてほしい。日本にも加盟していなくても県連なら来れるとなればいい。日本も情報収集していきたい。

個人的には大津全国大会が初めての全国参加でした。終わってみて単会の動きはどうか？

大津：目標に向かって必死にやった。終わってからは余波で次の目標を見つけるのが難しかった。その次も見据えて人材の育成などしていたら楽だったのかなと。

伴：県連として分科会等受けていたと思いますがそれがブロック大会にもつながっている。滋賀県連は委員会はありますか？

守山：後援会と風会議の担当はある。

伴：役員会は？

守山：2か月に1回。

伴：例会の出席率は全国で50%ぐらいといわれている。90%もある。千葉の柏YEGがそう。委員会が10委員会あり1委員会10人程度なので関係しやすい。90%超えている所は声かけをしている。会費は全国平均2万4千。

彦根：3万です。

伴：宇都宮1万2千だが3万6千になった。

彦根：風会議の彦根版をやっている。今年は大学生を入れてやっているが事業が多くなりすぎるというクレームも出ている。柏は多いですね。

伴：それが当たり前になっているのでは。全国でいろんな特色がある単会がある。情報公開をしていきたい。日本に対してこうしてほしいなどありませんか？

彦根：距離感が縮まったと聞いていますが、出向で行ったりはありましたけど、専務理事をやらしてもらったときに日本の事は知った。別団体に近いようなイメージになってしまう。委員会が活発になったと聞くが単会にリンクしてこない。なにしとんねんと思ってしまう。どう伝えていいかなど。何をしているのか情報が落ちてこない。日本に行ってみたいという話が現状ない。若い子がチャレンジできるような雰囲気づくりをしてほしい。

伴：春会議で全国まわるのは負担である。委員会やった方がいい。そっちに力を入れるべき。回ることに力を入れるのもどうかと。4ヶ月週末がなくなる。委員会事業をしっかりとやっていかないと。今年専門委員には自分の地区+2地区くらいでいいと伝えている。その代りに委員会をやってほしい。出向することによる理由が回るだけではだめ。何をもち帰るか。情報。日本の事をどれだけ伝えられるか。来年の日本はこうしますというPVを作った。それまで次年度の会議なのに事業説明がなかった。去年から会長研修会で次年度の事業の紹介をしている。反映してほしい。そうしてもまだまだ見えな

い部分が多いと思います。PVも作りましたが、文書でも作りしたので見てほしい。各委員会の事業もある。今まで配っていなかった。これからもしていきたい。チラシを創ってはいますが、各単会事務局に流したい。D文書で流すだけでは伝わらない。1つ1つやっていきたい。代表理事が発表する場を頂いて伝えてほしい。お互いに知りたいと思う。キャッチボールが出来ないと。そのための代表理事でもあると思う。でないと縮まらない。一緒に事業を出来るだけしていきたい。お互いに関わり合いを持たせてもらいたい。全国、会長研修会、ブロックに対して何かありませんか？情報が遅いなど。7月岡山会議があるので4時間取った。代表理事に詰め込もうと。現地視察も含め、分科会もこう作っているというプレゼンをしてもらう。こんな事をしているんだなど。色んな要望があるかなと思いますので。

草津：メンバーからの話。式典朝、大懇親会夜。分科会がある。メンバーからすると一日が長い。という意見はあった。説明不足があったとは思いますが。

伴：日程的に行きにくいという問題ですね。主管する方は色々と考えてはいるが、参加する人の意見も聞いていかなければいけない。岡山にも伝えなければ。代表理事が。

彦根：京都大会の総評はどうですか？家族は来たか？

田澤：分科会では登録料を頂くことが多かったのが金がかかったと言われた。もう少し考えるところもあったのではと言われたこともあったが。思惑を伝えきれていなかったのかなというところはあった。家族は200名くらい。6220名の中で。

伴：家族事業は岡山にもお願いしている。手紙の事業は号泣しました。家族と生きていくことも大切な事。是非参加して頂きたい。

森山：ブロック大会が控えているので。色んな意見があるが、参加しやすいとか分科会とか。目の前に迫っている。

伴：行政、親会に対してありませんか？問題だったり仲がいいとか。会頭が青年部出身だったり変わって大変だとかあれば。

八日市：仲はいいですね。

長浜：会頭の息子さんもメンバーです。

伴：出来る事があれば日本も協力します。三村会頭も非常に理解してくれている。全国の単会、青年部がやりやすくなるなら日商から親会に書類を出すこともありうる。会長には親会の常任委員会に参加させて下さいとなっている。

彦根：毎回発言しています。

伴：私も日商に参加して発言している。青年部の事業説明の時間をもらった。短めにと言われたが会頭から副会長を紹介しなさいと言われ長く時間をもらった。青年部から日商に働きかける事もできる。地

域活性をしてくれるところを探している。その中に青年部も入っている。日本にそういうことをしてほしいや、ルートを作ってほしいなどあれば。

友好4団体トップ会議をやっている。JC、商工会、中央会さんと。3ヶ月に1度やってるが前回は5月7日宇都宮でYEGの担当で開催した。次は商工会さんの開催でやるが滋賀は他団体との付き合いはありますか？

森山：総会に呼んでもらうくらいですね。

伴：各単会ではどうですか？

彦根：JCに呼ばれるくらいですね。

伴：JAの青年部とはどうですか？

八日市：あるんですか？

伴：YEGと事業をしている所もあります。

森山：JCはあるが商工会は同じ地域にはないので。中央会はほとんど接点がありません。

草津：どういう会話をするのですか？

伴：西井会長の時にトップ同士で連携をしていきましたよとなった。2年目から事業ではないがトップ同士が普通に合うようになったので何かできないかという話になっている。災害時に活かしていきたい。東日本の震災の時には間に合わなかった。顔を合わせる程度だった。連携を取れる今。把握しているのでトップとも電話で話もすぐに出来る。福知山の時に京都府連と出来た。石巻のフォーラムで事例を発表したい。JCの地区長、中央会、プロ長。災害が起きてJCさんが行くと思う。YEGもすぐに行く。JCが一般家庭向けにやったらYEGが会社向けにやりますよとか。届かないところは商工会さんもある。中央会さんも出来る事がある。その形を作っていきたいという話。各地区での連携。道府県連での形が大事。年に何回か集まるような機会が出来れば。同じ県民ですから。トップ会談はそういった話をしていきます。何年か前に商工会とYEGの県連会長の合同事業を東京でやった。そういった機会を見える形で作っていききたい。中々事業となると進んでいかない。その為の通常のお付き合いもしていきたい。各地で聞いているとまだまだそこまでにはなっていない。その他何か要望はございませんか？

彦根：年々全国とか京都とか、別途お金がかかる事があるが、今まで参加してきたが、通例として。金額が上がってきていると思うがどう考えているのか。

伴：同感です。岡山には分科会でお金は取らないようにと話をしている。食事の部分はとってもいいと思うが。分科会では取らないようにと話をしている。私はそう考えている。事業費だが、翔生塾など頂かないと出来ないこともある。昔から予算は一緒だが委員会事業をやっていくにも事業費がないのが現状。日本として協賛企業なんてできないかなとか考えています。年間いくら頂けないとか。やればやるほど事業費がなくてですね。今までもらっていなかったが出向負担金を5千円もらうことになった。名刺やプレートなどを実費で頂くことになった。そうして事業費を創ったりしている。役員

会の金額が少なく単会さんが持出をしているのが現状。登録料は事業でもかかってしまう。日本から出せる部分がないところをご周知のとおりだと思いますが。

中野：細かい所で。イカキング。専門委員は単会では役員ですか？

彦根：理事です。副委員長をやってもらっている。

中野：情報の話があったので。そういうところは大事かなと。滋賀は5年で倍くらいになっていませんか？急増していますよね？増えた要因は？変わったことなど。感触は？

森山：滋賀は県から予算を県連として頂いている。お金の使い道をしっかりと出さないといけないので事業はしっかりとやっている。組織が大きくなるとまとめるために運営方法をしっかりとしないといけない。県連の役員会も単会から3名ずつ出してもらっているので会議も大きくなっている。出てくる人からしたら負担があるという面もある。マイナス面も出てくるが。単年度なので。長い歴史の中では違った見方があるかもしれないが組織が大きくなると善し悪しがあるのではと思う。事業も大きな事業が出来る。

岡田：分科会の登録料の話があったが、今年度登録料をあげる話があるかと思うが春の会長会議で。全国一斉にだが。消費税に合わせて。皆様に理解してほしい。分科会で費用を取ることに對しても今議論になっています。飲食に関してはかかる部分はあるが。努力している部分があるが会場費等どうしてもかかる部分が出てきてしまう。分科会も皆様にチョイスして頂き参加して頂きたい。近畿では委員会の設置を考えています。4団体の交流で災害時の話がありましたが、近畿でも南海トラフが来ると言われています。近くの支え合いが必要になってくると思います。近畿はひとつ創造委員会を設置して会長さんたちが集まる機会を増やし、交流をしてほしい。会長会議でもその企画を考えている。ブロック大会以外でも気軽に交流できるようにしたい。災害時にみんなで支えあえるような形を作りたい。規約を変える等問題もあるがご理解の上ご承認を頂きたいと考えています。

伴：お互いのキャッチボールが出来るように。その形を作っていきたい。代表理事にもその仕事をしてほしい。本日はありがとうございました。